

## 設計条件、設計方針等

### 第1 設計条件

建築場所：板柳町辻字岸田72番地2、73番地1

地目：畑（農地転用済）

用途地域・防火指定：指定なし

建ぺい率：70%

容積率：200%

### 第2 建物概要

施設用途：放課後児童健全育成施設（放課後児童クラブ）

構造、階数：木造、地上1階

延べ面積：710㎡

### 第3 ゾーニング及び諸室計画

(1) 児童室 373㎡以上（児童1人あたり1.65㎡）

- ・可動式の間仕切り等で5部屋に仕切れること。
- ・可動式の間仕切り等を外すことで大きく空間利用できること。

(2) 事務室、静養室

- ・事務室からエントランスを見渡せること。
- ・静養コーナーを設置すること。

(3) トイレ、手洗い場

- ・児童用（小便器4、洋式便器9）、職員用（洋式便器2）、多目的用を設置する。
- ・蛇口は複数設置する。

(4) 下足室、風除室

- ・下足箱を226名以上設置する。

(5) その他

- ・備品収納室、エントランス、防寒着等収納スペースを設ける。

### 第4 地質概要等

(1) 試験調査  
・建設予定地において建物の四隅と内部の12箇所ですWS試験（旧スウェーデン式サウンディング試験）を実施した。

(2) 調査結果  
・支持力不足により基礎に歪みが生じ不同沈下の可能性が考えられるために標準基礎の施工は不適であると判断された。  
・建物荷重が与える応力が地層の圧密沈下を誘発し、不同沈下の可能性が懸念されることから、地盤改良をして建物の安全性を図ることが必要である。

### 第5 省エネ対策

- (1) LED照明  
・照明器具はLEDを使用した省エネルギー型の製品を採用する。
- (2) 樹脂製サッシ  
・断熱性能の高い樹脂製サッシを採用する。（室内側の結露対策に有効）
- (3) 複層ガラス  
・全体にLow-E複層ガラス（遮熱タイプ）を採用し、夏場の暑さを防ぐ。

### 第6 冷暖房の対応

- (1) 冷房設備  
・最新の省エネタイプで人感センサー付きの業務用エアコンを採用し、人のいないエリアの空調を自動で抑えて省エネを実現する。
- (2) 暖房設備  
・冷房同様に業務用エアコンを採用する。

### 第7 給水・排水計画

- (1) 水道引込み  
・敷地内に水道が引き込まれていないため、南側町道の水道本管から敷地内へ引き込む。埋設部の配管は腐食防止の措置を講じる。
- (2) 公共枦設置  
・敷地内に公共枦がないため東側の下水道本管への公共枦設置を行う。
- (3) 雨水枦設置  
・雨水等の排水は東側駐車場の可変側溝へ放流する。

### 第8 建築物省エネ法

令和4年6月17日には建築物省エネ法の一部を改正する法律が改正公布され、2025年以降、全ての建築物を新築等しようとする建築主は、当該建築物を建築物エネルギー消費性能に適合させることが義務付けられることになった。建築確認申請の段階で省エネ適合性判定を行う。

### 第9 建築物の断熱仕様基準

1. 当該地区の省エネ地域区分 3地域（寒冷地）
2. 仕様基準
- (1) 開口部仕様  
・樹脂製（複層ガラス）Low-E（日射遮蔽型）
- (2) 断熱仕様  
・天井：吹込み用グラスウール断熱材（天井用） 厚さ300mm  
・外壁：吹付け硬質ウレタンフォームA種1H 厚さ65mm  
・床：押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種b(A) 厚さ100mm
- (3) 空調熱源  
・ルームエアコンディショナ  
・パッケージエアコンディショナ（空冷式）  
・電気式ヒーター等（トイレ）
- (4) 換気  
・第三種換気；ダクト用換気扇（100V）
- (5) 照明  
・LEDベースライト、シーリングライト、ダウンライト、ブラケット
- (6) 給湯  
・洗面、手洗い：電気温水器
3. 一次エネルギー消費量 【BEI】0.67以下目標[誘導BEIm ≤ 0.70]達成

## 設計方針等

### 第10 景観上の配慮

#### 1. 統合小学校と一体化した景観の形成

- (1) 外観の融合      ・柔らく自然になじむアースカラーを基調に統合小学校と融合するようにする。
- (2) 建物高さ      ・国道側から見て当該建物は統合小学校の手前に位置するため、高さをなるべく低く抑え、融合に配慮する。
- (3) 屋根の形      ・切妻屋根の屋根型はふるさとセンター、あぶる、青柳館等に用いられており、背景の岩木山の稜線に合わせ切妻屋根とし、融合するように配慮し景観上の統一を図り地域に溶け込む計上とした。
- (4) 外壁の色      ・アースカラーの基本色(ベージュ、カーキ、ブラウン)を基調とし、統合小学校と共に地区のシンボルとなるように配色を行う。

### 第11 仕上げ計画

#### 1. 内部仕上げ

- (1) 床      ・児童室(1)、(2)、(3)の部屋は座卓になるためタイルカーペット敷きとする。  
・事務室、玄関ホール、廊下(1)、備品収納室、トイレ等は長尺ビニルシート張りとする。  
・児童室(4)、(5)はとんだり、跳ねたり、寝転んだりすることを考慮して衝撃吸収性と反発性を備えた長尺弾性塩ビシート張りとする。  
・風除室、玄関ホールの一部は磁器質タイル張りとする。
- (2) 壁      ・各室共にビニルクロス仕上げを基本とし、柱等の木部を極力見せるようにする。
- (3) 天井      ・各室共にビニルクロス仕上げを基本とし、構造体の木部を極力見せるようにする。

#### 2. 外部仕上げ

- (1) 外壁      ・対候性、耐久性を考慮し、セラミックコート<sup>®</sup>ハルプ<sup>®</sup>繊維混入セメントけい酸カルシウム押出成形板(厚16mm)通気工法横張り金具留めとする。
- (2) 屋根      ・対候性、耐久性を考慮し、ガルバリウム鋼板葺きとし、勾配無落雪屋根とする。

### 第12 構造に対する考え方

#### 1. 耐久性

- (1) 小屋裏換気      ・小屋裏は十分に換気ができるように金物換気を用いる。
- (2) 外壁      ・外壁は通気層を設け、木材の腐食を防ぐ措置を講ずる。
- (3) 基礎      ・布基礎を採用し、防湿コンクリートを施し、地面からの湿気を防ぐ方法をとる。

#### 2. 耐震安全性

- (1) 分類      ・Ⅱ類 (大地震後、構造体の翁補修なしで使用可能)
- (2) 重要度係数      ・1.25以上
- (3) 耐震性      ・震度6強から震度7に達する程度の大規模地震でも倒壊・崩壊のおそれのない建築物である。

統合小学校



放課後児童クラブ



板柳町の施設

